

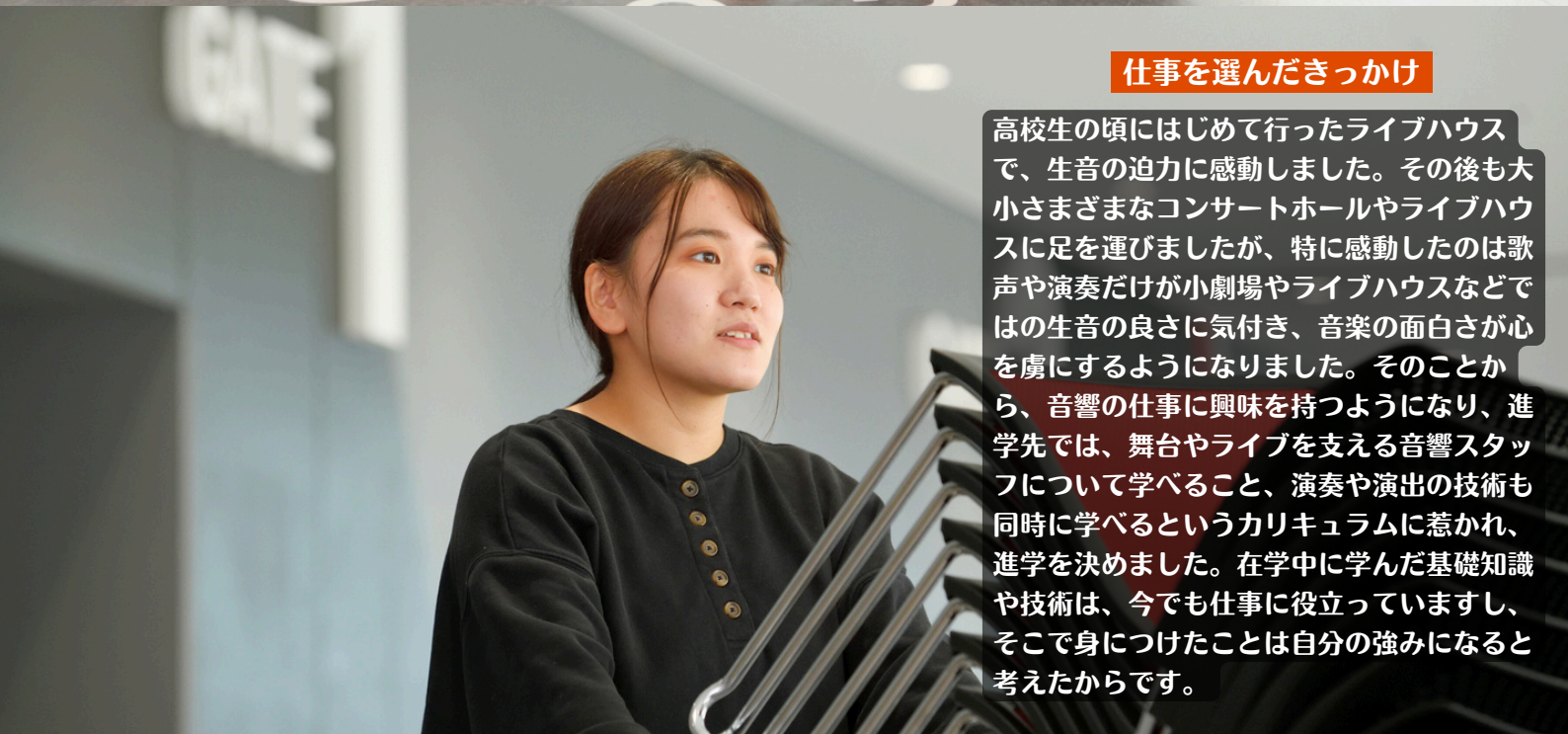
仕事のやりがいや魅力

私は、地元愛知県で1949年に創業し、中部地区を中心に海外も含め舞台芸術やイベント、劇場管理などを行っている企業に舞台音響担当として勤務しています。そのため、オペラやミュージカル、バレエ、ダンス、日本舞踊など舞台芸術の現場、さらには娯楽などのイベント会場にも出向きます。現場では、音響、照明、映像、進行、管理のスタッフが協働しながら舞台やイベントを創造しています。そして、それらのスタッフが演者を支え、演者がお客様を笑顔にしていく体感は何ものにも代えがたく、やりがいを感じます。演目が終わった後の拍手喝采に包まれている瞬間は、とても感動しますし、演者を支える一員として嬉しく思います。



仕事を選んだきっかけ

高校生の頃にはじめて行ったライブハウスで、生音の迫力に感動しました。その後も大小さまざまなコンサートホールやライブハウスに足を運びましたが、特に感動したのは歌声や演奏だけが小劇場やライブハウスなどではの生音の良さに気付き、音楽の面白さが心を虜にするようになりました。そのことから、音響の仕事に興味を持つようになり、進学先では、舞台やライブを支える音響スタッフについて学べること、演奏や演出の技術も同時に学べるというカリキュラムに惹かれ、進学を決めました。在学中に学んだ基礎知識や技術は、今でも仕事に役立っていますし、そこで身につけたことは自分の強みになると考えたからです。



学校資料を希望される方は
こちらをTAP!